

ガイドボランティアの活動記録

山本昌生

当園では平成13年3月24日から大温室などの植物を紹介し、植物の魅力を知ってもらうため、入園者へのサービスとボランティア活動の場の提供としてガイドボランティアを導入した。現在43人が活動中である。導入の経緯や活動内容については前号（第23号）で紹介した。今回は、その後の活動や進展について報告する。

活動

園内の5つの温室を①ペゴニア温室、②大温室と熱帯スイレン温室、③フクシア温室とサボテン温室の3グループに分け、各グループに2～3人ずつ配置している。当初は、土・日曜日の午後1時半から3時20分の間の定刻に入り口から出口まで案内していた。しかし、ガイドを重ねる内に各ポイントでガイドしたほうが入園者に話しかけやすいことがわかったため、各人が分かれて各ポイントでのガイドを中心としている。

入園者へのガイドは平成13年3月24日から開始した。案内した人数は平成12年度202人、13年度10,964人（定

期ガイド10,067人、不定期ガイド40回：877人）、14年度は12月末まで11,675人（定期ガイド9,687人、不定期ガイド62回：1,988人）であった（表1）。不定期ガイドは土・日曜の定期ガイド以外に小学校、公民館等の各種団体を案内するもので、昨年に比べて大きく増加している。特に小中学校には、当園で行う自然体験学習メニューの一つとして紹介しているため、増加傾向にある。

このほかに当園の自然体験学習基礎講座での体験ガイドや平成14年度秋の「万葉の植物写真展」関連行事の万葉ガイドツアー（万葉集に詠われた園内の植物を案内）も不定期ガイドとして実施した。

例会と研修

昨年同様、情報提供の場と親睦をかねて、2ヶ月に1度、10時半から12時に例会を開催している。主な内容は昨年同様植物公園からの連絡事項、各種資料・情報の提供、議題に対する協議、当番の割り当て、研修などである。今年は職員による海外の植物自生状況や海外の植物園紹介を主に行った。また、植物バイテクに興味をもつ人に呼びかけ、バイテク講習会を実施している。現在培地作りから無菌播種まで行っており、将来的には当園のシンボルマークであるサギソウを増殖させ、市民への

表1. 定期ガイド・不定期ガイド実績表

月	定期ガイド				不定期ガイド		合計	
	日数(日)	ペゴニア温室	大温室	フクシア温室	計	件数		人数
3月	3	80	70	52	202	0	0	202
12年度合計	3	80	70	52	202	0	0	202
4月	8	352	264	263	879	0	0	879
5月	7	356	196	259	811	2	36	847
6月	10	280	341	221	842	1	17	859
7月	9	211	117	138	466	1	21	487
8月	8	162	171	252	585	2	60	645
9月	10	291	295	322	908	4	80	988
10月	8	267	126	299	692	6	124	816
11月	8	435	281	330	1,046	12	369	1,415
12月	8	179	161	258	598	7	76	674
1月	8	299	251	200	750	1	2	752
2月	8	368	270	337	975	1	47	1,022
3月	10	486	422	607	1,515	3	45	1,560
13年度合計	102	3,686	2,895	3,486	10,067	40	877	10,944
4月	8	435	589	543	1,567	8	533	2,100
5月	8	469	617	522	1,608	16	297	1,905
6月	10	301	434	456	1,191	5	177	1,368
7月	8	210	168	192	570	1	30	600
8月	9	209	261	213	683	5	85	768
9月	9	322	268	294	884	2	67	951
10月	8	314	341	282	937	12	454	1,391
11月	10	534	506	556	1,596	9	297	1,893
12月	8	201	232	218	651	4	48	699
14年度小計	78	2,995	3,416	3,276	9,687	62	1,988	11,675

注：平成12年度は3月24日から開始したので3日間の合計、14年度は12月までの計。

定期ガイドは案内した場所は異なっても同じ人を案内した場合もあるので、延人数。

表2. ガイドボランティア研修一覧表

開催日	場所	研修内容	参加者数
13.2.6	植物公園大温室	春をよぶラン展とランの解説	9
13.2.17	植物公園栽培温室ほか	植物公園バックヤード見学・解説	12
13.6.23	植物公園講堂	ラン～不思議な植物～	18
13.7.20	広島平和記念資料館	ピースボランティア見学、意見交換	13
13.8.25	植物公園講堂	ワークショップ研修(実習)	23
13.9.8	植物公園熱帯スイレン温室	オオオニバスの花の観察(夜間)	18
13.10.6	植物公園熱帯スイレン温室	オオオニバスの花の観察(夜間)	5
13.10.27	植物公園講堂	ペゴニア新品種の育成について	20
13.11.13	宮島水族館	隣の観察、水族館ガイド見学、意見交換	13
13年度合計			131
14.4.19	宮島	宮島の史跡探訪	14
14.6.30	植物公園講堂	南アフリカの植物紹介	25
14.10.26	植物公園講堂	マレーシア植物紀行	21
14.9.16	植物公園講堂	植物バイオテクについて	16
14.9.22 と9.24	植物公園資料作成室	ランの無菌播種用培地作り	17
14.10.12	植物公園講堂	ランの無菌播種について	14
14.12.22	植物公園講堂	イギリスの植物園について	34
14年度合計			141

配布を計画している(表2及び写真)。

当園で行っているさまざまな講座、講習会、実演会などの行事にもボランティアメンバーからの参加が多く、学習意欲は高い。そのため、ボランティアメンバーを意識した講座も導入していくこととしている。

自主活動

昨年同様、4月29日のみどりの日を中心とした春の植物公園まつりと11月3日の開園記念日を中心とした秋の植物公園まつりに参加した。期間中の温室ガイドは従来職員が行ってきたが、ガイドボランティアが行った。また、大温室前のテントにボランティアコーナーを作った。昨年は初めての参加でもあり、クラフトなどメニューが多かったが一部の人に負担が大きいため、今回はボランティアの活動紹介を中心とし、リーフレット(栽培の手引き)の配布、手作り竹馬体験、秋にはシイの実の試食などを行った。

会報であるガイドボランティア通信は基本的にはボランティアが原稿を書き、継続的に発行している(平成13



写真. バイテク講習会(クリーンベンチでのサギソウ無菌播種作業)

年12月に第1号発行、例会時に定期的に発行。表3)。

事務局と友に企画運営及び実施を行うリーダーズは、仕事内容もある程度固まってきたことから、持ち回りとし各自経験してもらうこととした。

現在温室のガイドを行っているが、今後サクラやバラ、ロックガーデン、樹林観察園など屋外の植物のガイドも予定している。その研修用のテキストをガイドボランティアと友の会の会員から募集し、約1年間かけて作成した(表4)。この発展活動として樹木の勉強グループが結成され、月に2回自主勉強会を行っている。このグループは、広島市の中央公園で開催された秋のグリーンフェアにおいて一般の人を対象に樹木ウォッチングを2回行ったほか、小学校からの依頼により、校内の樹木調査を行い植栽図の作成も行うなど園外にも活動を広げている。

今後の計画

屋外ガイドもテキストの作成と並行して、ガイドボランティア同士での案内を行い、実際にガイドする上でのコースや時間、内容などの勉強会を開いていることから、養成講座の目途がつきしだい導入を図りたい。

現在図書室をボランティアルームとしているが、専用の部屋ではない。今後、交流の場として自主活動を盛んにするためボランティア専用の部屋を確保する予定である。

表3. ガイドボランティア通信タイトル一覧表

号	タイトル
1	宮島水族館と干潟観察に参加して
2	蘭との出会い(風蘭)
3	京都府立植物園のボランティア活動と園内散策 ガイドボランティア体験談
4	春の植物公園まつり報告 日本植物園協会大会・研究発表報告
5	東山植物園のガイドボランティア活動と温室観察 モッコクハマキ(害虫)の記録
6	先島諸島を旅して ガイド当番表を作成して思うこと(リーダーズからの事務連絡として)
7	柿本人麻呂の謎は探れたか?
8	少年探偵団の樹木観察(屋外ガイドC班活動報告)

表4. ガイドボランティア作成屋外テキスト一覧表

ロックガーデン	日本庭園コース(Aコース)
ウメ	カエデ園(Bコース)
サクラ	ヤマザクラ(Cコース)
早春の花木(マンサク、ロウバイ、ジンチョウゲなど)	里山コース(Dコース)
ボタン・シヤクヤク	展望台コース(Eコース)
ハナショウブ園	香りの散歩道コース(Fコース)
バラ園	針葉樹コース(Gコース)
ツツジ・シヤクナゲ園	広場コース(Hコース)
花の進化園	湖畔及びツバキコース(Iコース)
路傍の野草たち	マンサクコース(Jコース)
	竹林コース(Kコース)